

心新たに  
戦争の真実を見つめ  
核兵器廃絶と平和を願う

'87 第4回

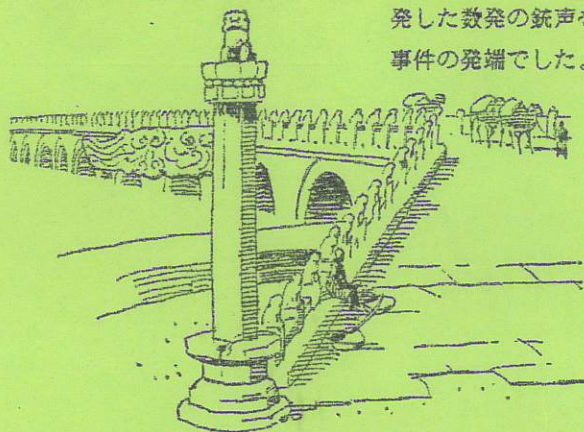
# しながわ 平和のための戦争資料展

8/7~11

—日中戦争50周年・日本国憲法40周年—



戦争中の遺品・写真・資料をご出品下さい



## <日中全面戦争の始まり>

ろ溝橋事件とは、1937年7月7日、夜、北平城（北京）より、西南6キロのろ溝橋でおこった日中両軍の武力衝突です。

ろ溝橋北側付近で夜間演習を行っていた日本軍1個中隊が何者かの発した数発の銃声をきっかけに、中国軍にたいし攻撃をくわえたのが事件の発端でした。

そして、日中全面戦争へと軍事行動が拡大していったのです。これは、なにびとがいかに弁護し、否定しようとも、明らかに天皇の名によって行われた侵略戦争です。

## <日本国憲法40周年>

1945年8月、日本は敗北し、日本人の誰もが戦争はもうこりごりだと思いました。その思いは、今の「日本国憲法」が作られるとき取り入れられ、その前文と第2章第9条で、あらゆる戦争をしないこと、そのために

いっさいの軍備をもたないことを宣言しました。

ところが、1950年 朝鮮戦争が起こったのをきっかけに再軍備の方向へと進みました。防衛費は、ついにGNP比1%わくを突破しました。また日米共同実動演習もおこなわれ、日本の核基地化も進行しています。

一方、それと歩調をあわせて 教科書統制の色彩がさらに濃くなってきています。高校社会科の「現代社会」では、自衛隊や安保、人権、公害などに

ついては 細部まで厳しくチェック、書き換えを指示しています。

政府によって憲法の平和主義に真向から反する動きが強められている今、「みなさんはけっして心ぼそく思うことはありません。日本は正しいことをほかの国よりさきに行ったのです。世の中に、正しいことぐらい強いものはありません。」の一節を思いおこす必要があるのではないのでしょうか。

## <宇宙にまで広がる核戦争>

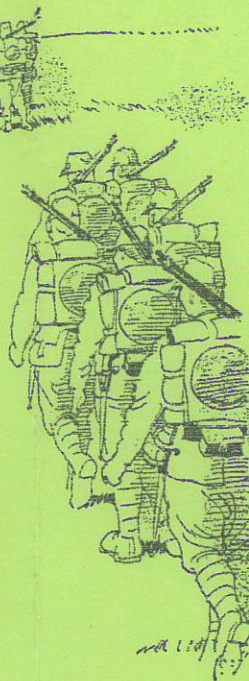
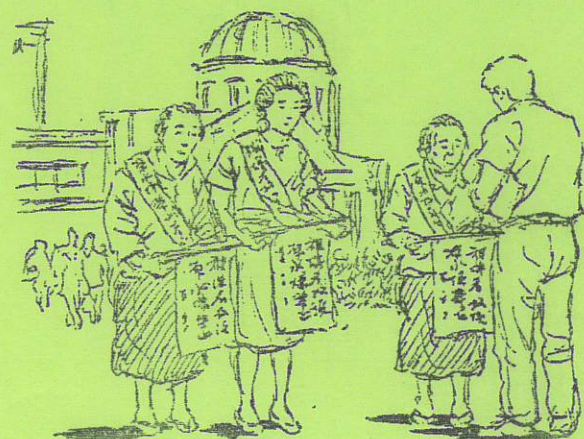
「核戦争3分前！」 核戦争の危険がわたしたちの目のまえにせまってきました。

1945年7月、アメリカが原爆の開発に成功したときこの地上にはたった3発の核兵器（原爆）しかありませんでした。

それから40年、いま世界には米ソを中心に4~5万発の核兵器がつくられ、全人類を50~60回も殺せる恐ろしい数です。

いまアメリカは、SDI（戦略防衛構想）の研究にとりくみ、日本政府も積極的に参加しようとしています。

核兵器廃絶以外に人類の生きる道はありません。



## <子どもたちの疎開>

昭和18年頃より、東京の空襲も時間の問題となり都内の学童を戦禍から守る国策として、集団で区が指定する地方に先生とともに分散寄宿させました。

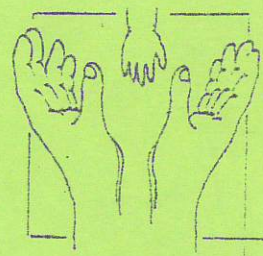
全国12の大都市の子どもたちのほかに沖縄・伊豆諸島の子どもたちも疎開させられました。

## <残留孤児はいま...>

「孤児が中国に残っているかぎり戦争は終わってはいない、日本に帰国し定住するようになった中国残留孤児の言葉です。孤児とは言われるが、訪日を望む日本人はすでに40~50代を迎え、身元判明につながる肉親はすでに高年令化し、判明者は50%

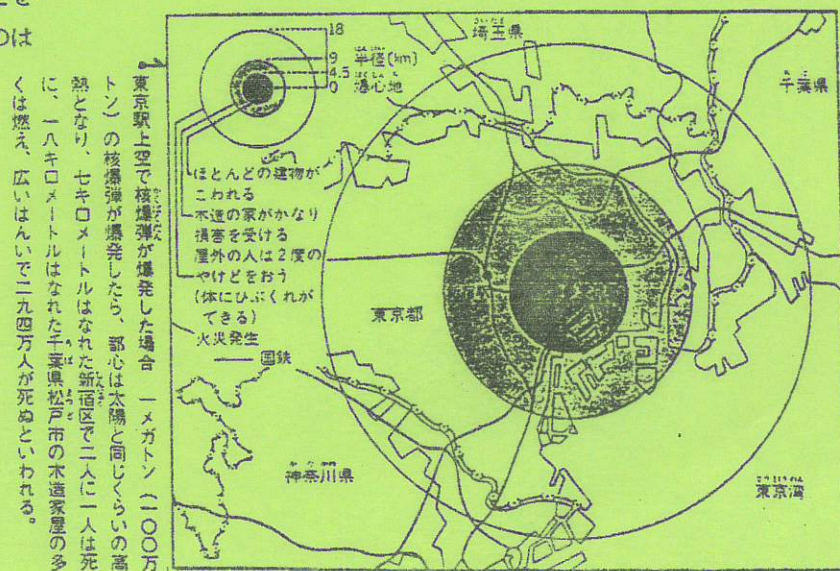
をやや上回るにすぎません。帰国定住者も言語、自立のための資金や仕事、多くの問題をかかえています。『インドシナ難民と同じように残留孤児への配慮を、

そして開拓移民として、植民地政策として送り込まれ、悲惨な目にあいながら中国に残された日本人を援助していくのは政府の責任であり、いま私たちは何をすべきかを考えていかねばなりません。



「はい、うん。」

ふんばくも



東京駅上空で核爆弾が爆発した場合、一メガトン（一〇〇万トン）の核爆弾が爆発したら、都心は太陽と同じくらいの高熱となり、七キロメートルはなれた新宿区で二人に一人は死に、一八キロメートルはなれた千葉県松戸市の水道家屋の多くは燃え、広いはんで二九四万人が死ぬといわれる。